

会派代表質疑

録画配信は
こちら⇒



3月5日の本会議で、市長が提案した予算案に対して、各会派が代表質疑を行いました。
主な質疑の要旨を発言順に掲載しています。

わが会派は 予算のここをチェック！

地域公共交通の充実へ

八王子市議会公明党

渡口 禎



問

自動運転バスなどの新しい技術等を取り入れながら、地域公共交通のさらなる充実を目指す取り組みを聞きたい。

答

これまでの地域交通事業の取り組みを踏まえ、地域の特性に応じた新しい交通システムの早期導入への検討を事業者等と進め、地域公共交通の充実につなげていく。

新たな予防接種助成の効果は

問

新たに予防接種の助成を行うが、その効果は。

答

幼児等への三種混合ワクチンは百日せきのまん延予防、男性へのHPV※ワクチンががん予防に効果があるほか、小児インフルエンザワクチンは重症化予防だけではなく、子育て家庭への支援にもつながる。接種しやすい環境整備に取り組み、市民の安全・安心につなげていきたい。

老朽化した管路への対応は

自民党新国会

岩田 祐樹



問

他県で発生した道路陥没事故を契機に、老朽化し耐用年数を超えた下水道管の問題が注目されている。7年度予算における管路費で、どのように対応していくのか。

答

補修や管路内の調査等の費用を計上しており、予防保全に重点を置いた維持管理に努めていく。また、補修等の優先順位の精度向上に取り組むとともに、先端技術導入にも目を向けていく。

財政健全性確保の取り組みは

問

財政の健全性確保の視点における7年度予算の取り組みについて聞きたい。

答

将来の歳入確保に向け、新分野での企業誘致に引き続き取り組むとともに、官民連携等による事業展開を行い、行政サービスの質の確保と持続可能性の両立を図っていく。

文化財の保護や活用の拡大を

立憲民主・市民の会

森 喜彦



問

本市の日本遺産「桑都物語」を活用し観光事業や地域活性化に取り組んでいるが、未指定文化財も含め、より多くの文化財の保護や活用等にもつなげるべきではないか。

答

8年度開設に向け整備中の歴史・郷土ミュージアムで、歴史文化の価値と魅力を発信するとともに、事業者等との共創を推進し、地域社会全体で次代へ継承していく。

職員の人財育成への考えは

問

業務を適正に執行していくためには、専門性の高い人財を育成することも重要と考えるが、今後どのように人財育成と定着を図るのか。

答

自律的にキャリア形成できる人事制度の構築と、多様な経験を積める環境整備で、成長実感と働きがい高め、育成と定着を図っていく。

聞こえに関する支援の充実を

日本共産党
八王子市議会議員団

市川 克宏



問

聞こえに困難を抱える高齢者が健康的な日常生活を送るため、補聴器購入費を補助するとのことだが、コミュニケーションの機会確保など総合的な支援への考えは。

答

購入補助だけではなく、高齢者の聞こえのコミュニケーション支援の実施で、加齢性難聴の早期発見・対応を行うことで、社会参加の障壁を下げられると考えている。

加入者の国保税負担の考えは

問

一般会計から国民健康保険(国保)特別会計への法定外繰入金を計上しないことは、加入者の負担増となり、社会保障制度としての役割の否定と考えるが認識は。

答

国保加入者以外の方との負担の公平性などを十分に考慮した上で、税率を適用すべきと認識している。

※ヒトパピローマウイルスの略で、主に性行為によって感染するウイルス。中咽頭がんや肛門がんなどの疾患の原因になることがわかって